

## 夢を描き、実現できる子どもの育成

～子どもたちが自分の好きなことをより好きに～

### 夢に向かって挑戦する力

#### ① 夢や目標に向かって挑戦する力の育成

- 小学校からのキャリア教育の充実と体験活動を重視した取組
- 「暗記のすすめ学」による社会においても必要とされる自分の思いや考えを表現する力の育成

### 基礎基本の定着

### 活用力・表現力の育成

#### ② わかる授業に向けた授業改善

- 協調学習における主体的・対話的で深い学びの授業実践の推進
- 「めあて・課題、まとめ・振り返り」を位置付けた「わかった！できた！」を実感する新大分スタンダードに基づく子ども主体の授業づくり
- 子どもたちにつけたい力（評価規準）を明確にした1時間の授業づくり及び単元構成
- 教員の教える場面と生徒が考える場面を明確にした授業構想
- **単元テスト、定期テスト等でつまずきの把握とやり直しの徹底。**  
**できていないところをそのままにしない指導**
- **リアル(紙)とデジタル(タブレット)を効果的に活用し、書く活動の機会を保障する**
- 「まなびの扉」による教職員オンライン研修（特別支援教育、協調学習等）
- 学校の規模に応じた授業形態・個別最適な学びの推進  
（アウトプット型授業、個別指導、補習授業、教科担任型授業等）

#### ③ 家庭学習との連動

- 家庭学習における効果的な ICT 機器の活用  
（デジタル教科書・ドリルパーク等の活用）

# 全国学力・学習状況調査 小学6年生(4月17日実施)

| 平均正答率 | 国語   | 算数   | 理科   |
|-------|------|------|------|
| 市     | 70.0 | 59.0 | 61.0 |
| 県     | 69.0 | 60.0 | 60.0 |
| 全国    | 66.8 | 58.0 | 57.1 |

| 観点別<br>平均正答率 |    | 国語    |          | 算数    |          | 理科    |          |
|--------------|----|-------|----------|-------|----------|-------|----------|
|              |    | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
| 正答率          | 市  | 77.6  | 66.7     | 69.4  | 45.5     | 60.6  | 62.2     |
|              | 県  | 78.5  | 64.9     | 68.2  | 48.9     | 59.0  | 60.7     |
|              | 全国 | 74.5  | 63.8     | 65.5  | 48.3     | 55.3  | 58.7     |

## 学力調査の概要

### (1) 良好な項目

- ◇国語科では、「書くこと」「読むこと」において県平均よりも正答率が高くなっている。
- ◇算数科では、記述式問題において無回答率が県や全国平均よりも低くなっている。「図形」の領域において正答率が高くなっている。
- ◇理科では、「生命」の領域において正答率が高くなっている。花のつくりや発芽するための必要条件など観察や実験を通して定着できている。

### (2) 課題がある項目

- ◇国語科について、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることや、目的に応じて文章や図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることに課題がある。
- ◇算数科では、目的に応じて適切なグラフなどを選択して判断し、その理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。説明の記述について正答率が低くなっている。
- ◇理科では、電気を通す金属、磁石に引き付けられる金属について混同して覚えている実態がある。また電気の回路について理解が不十分であった。

## 質問紙調査結果の概要

### (1) 良好な項目

- ◇「自分にはよいところがあると思いますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目は肯定回答が全国・県を上回っている。
- ◇「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の肯定的な回答が全国・県を上回っている。
- ◇「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の項目では、肯定回答が全国・県を上回っている。
- ◇「地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか」の項目では、肯定回答が全国・県を上回っている。

### (2) 課題がある項目

- ◇「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の項目は全国を上回っているが、「理科の勉強は好きですか」の項目について、全国・県の数値を下回っている。
- ◇「理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか」の項目は県・全国の数値を下回っている。

## 全国学力・学習状況調査 中学3年生(4月17日実施)

| 平均正答率 | 国語   | 数学   | 理科 IRT スコア |
|-------|------|------|------------|
| 市     | 57.0 | 44.0 | 493        |
| 県     | 53.0 | 45.0 | 501        |
| 全国    | 54.3 | 48.3 | 503        |

| 観点別<br>平均正答率 |    | 国語    |          | 数学    |          |
|--------------|----|-------|----------|-------|----------|
|              |    | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 |
| 正答率          | 市  | 52.7  | 58.3     | 52.0  | 31.3     |
|              | 県  | 46.5  | 54.6     | 51.2  | 34.8     |
|              | 全国 | 48.1  | 55.3     | 54.4  | 39.1     |

### 学力調査の概要

#### (1) 良好な項目

- ◇国語科「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いたり、相手の反応を踏まえたりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する問題において、県・全国平均を大きく上回っている。
- ◇数学科「関数」において、グラフから必要な情報をよみとる項目や、「図形」において、証明を振り返り辺や角の新たな関係を見出す項目について、県平均を上回っている。
- ◇理科において、「エネルギー」「地球」の領域において、正答率が県・全国を上回っている。

#### (2) 課題がある項目

- ◇国語科では、工夫を伝える文章を書く、文章の効果について自分の考えとその理由を書く、修正した方がよい部分を見つけてその理由を書くといったように記述の問題において正答率が40%を下回っている。
- ◇数学科では、外角の位置や1次関数の増加量の問題など基礎的な問題について定着が十分でない単元があった。また証明を完成させたり、考えを説明したりする問題について無回答率が高くなっている。
- ◇理科では、全体の結果を示す IRT スコアが県より8ポイント下回っている。特に、大地の変化に関する「粒子」の領域についての正答率が40%を下回っている。

### 質問紙調査結果の概要

#### (1) 良好な項目

- ◇「分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定的回答は、全国・県と比較して上回っている。
- ◇「読書は好きですか」「地域の大人に、授業やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか」の項目では、全国・県の肯定的回答を10ポイント程度上回っている。
- ◇「1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目では「ほぼ毎日」という回答が全国・県を大きく上回っている。

#### (2) 課題がある項目

- ◇「将来の夢や目標をもっていますか」の項目において、肯定的な回答が全国・県を下回っている。
- ◇「ICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができるか」の項目では肯定的回答が全国・県を下回っている。
- ◇「授業以外に普段1日あたりどれくらいの時間勉強しますか」の項目において、「2時間以上」と回答する生徒が17.6%と県36.2%、全国30.8%と比べると低くなっている。